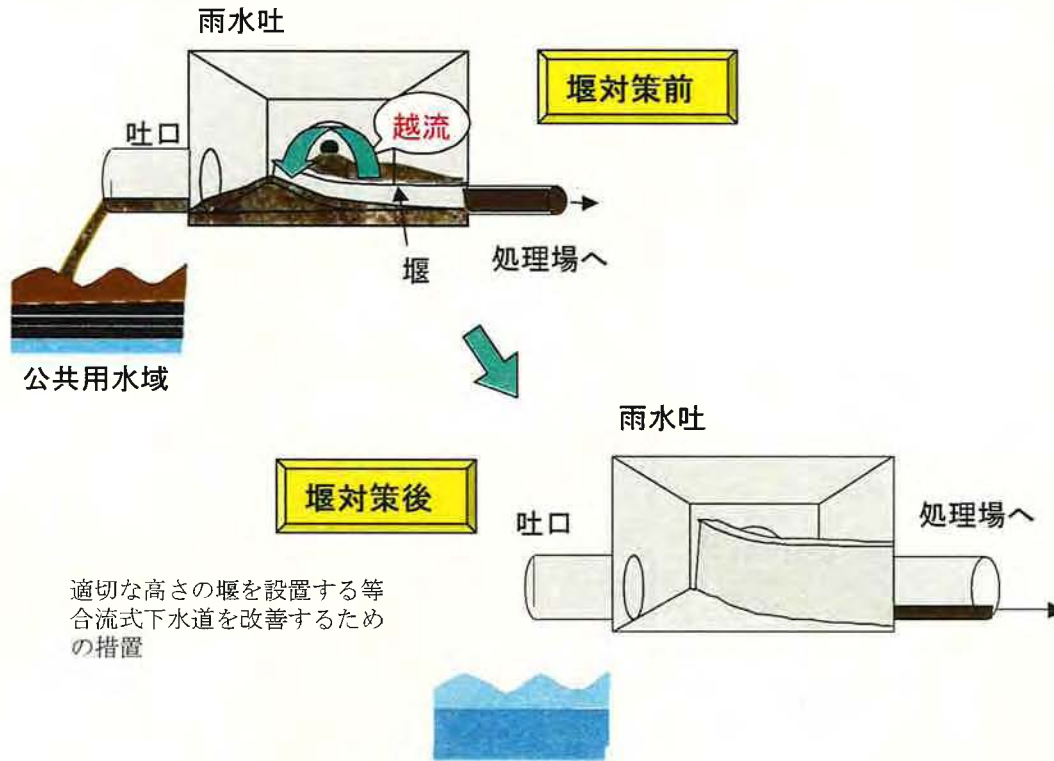


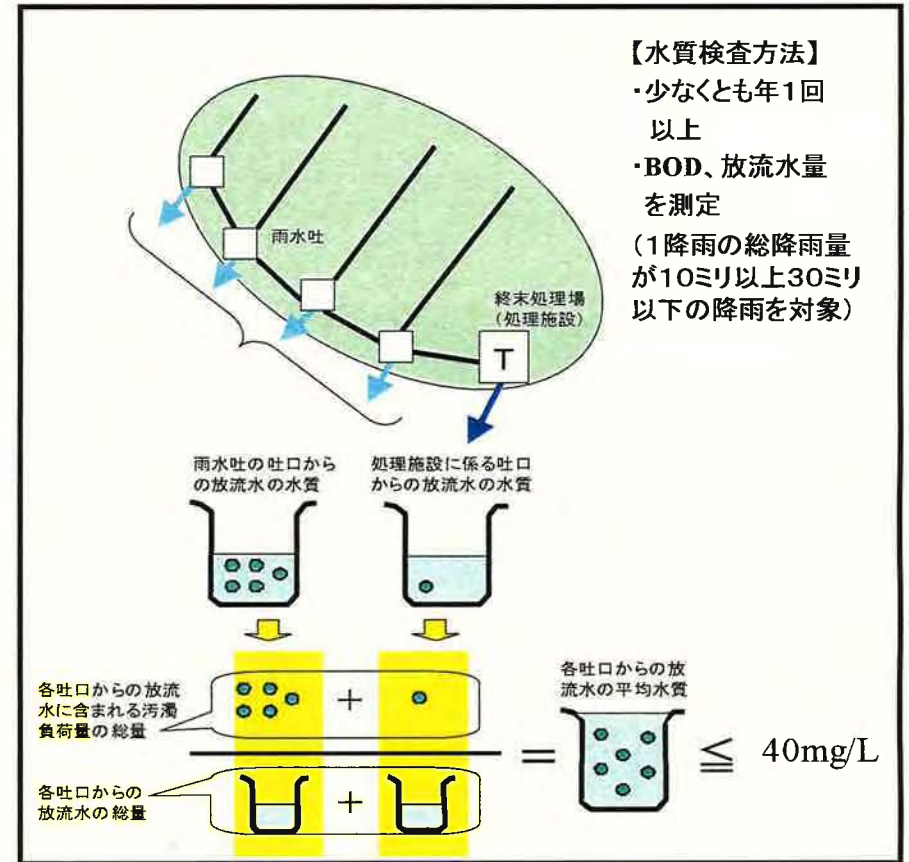
下水道法施行令改正の概要

雨水吐の構造基準

適切な高さの堰を設置



雨天時放流水質基準



経過措置規定

雨水吐の構造基準は10年後(平成26年4月)より適用(※)

水質基準は10年経過まで暫定基準(70mg/l)

(※ 合流式の公共下水道の処理区域面積が1,500ha以上又は合流式の流域下水道に接続する流域関連公共下水道の処理区域面積が5,000ha以上の場合は20年後より適用)

○計画策定支援

- 合流式下水道改善計画策定のための
モニタリングマニュアル(案) (H15)
- 合流式下水道改善対策指針と解説 (H14)

○事業実施支援

- 合流式下水道緊急改善事業 (H14、H16拡充、H17再度拡充を
検討)

○技術開発支援

- 下水道技術開発プロジェクト SPIRIT21 (H14～)

合流式下水道の改善方策

- ①雨天時に未処理の下水を一時貯留し、越流を防止。晴天時に処理場へ送り処理。
- ②未処理の下水を現在の能力以上に処理場へ送るための下水管(遮集管)を整備。
- ③夾雑物が流出しないようにスクリーン等を設置。

